

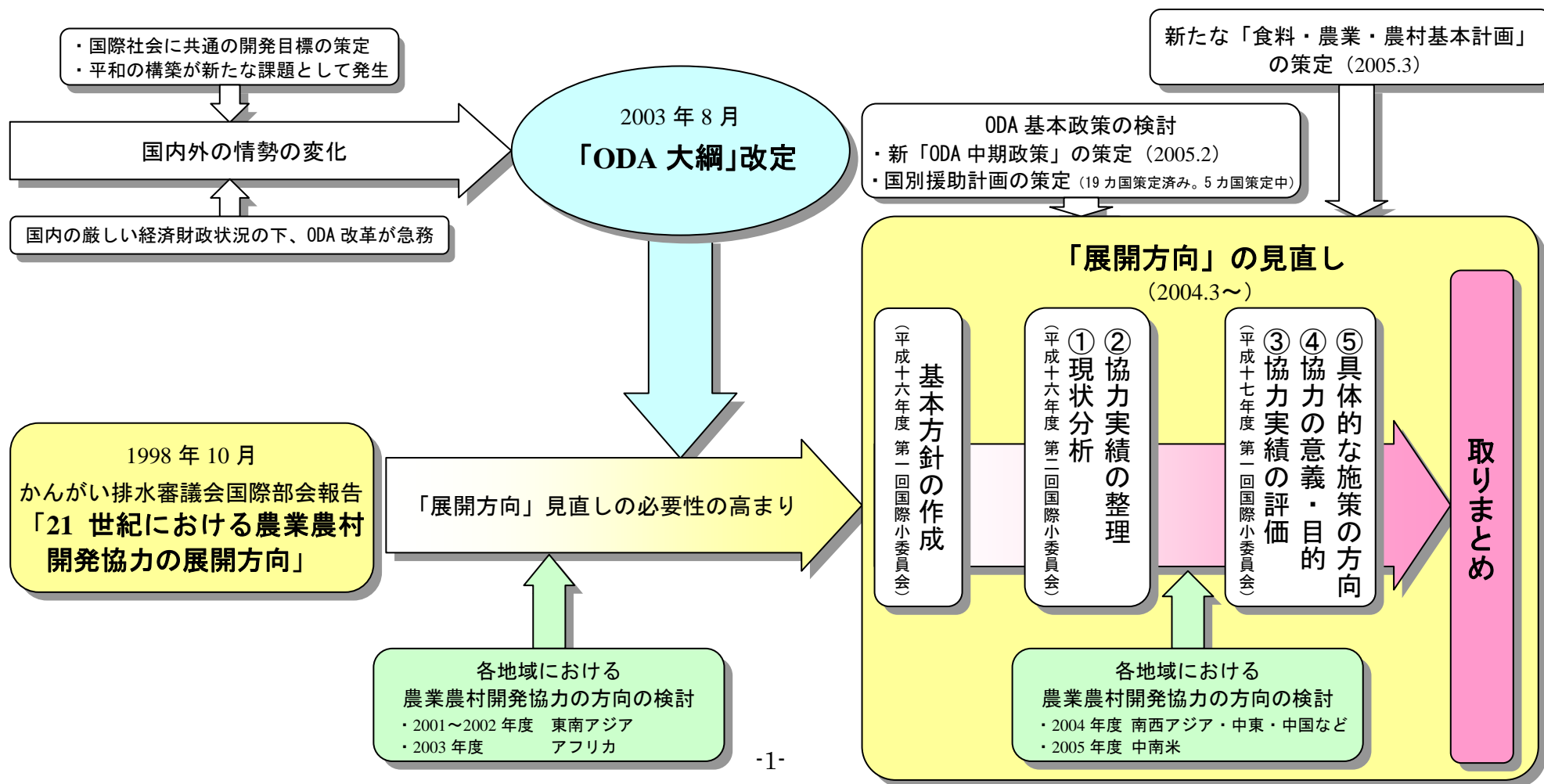
農業農村開発協力の展開方向  
～取りまとめに至る経緯～

平成１８年２月

農林水産省農村振興局整備部

# 1. 検討の経緯

- これまで農業農村開発協力は、1998年に策定された、かんがい排水審議会国際部会報告「21世紀における農業農村開発協力の展開方向」（以下「展開方向」）などに基づき実施
- 2003年にODA（政府開発援助）大綱が改定されるなど、国内外の情勢は大きく変化。「展開方向」の見直しを行う必要
- 見直し範囲が広範・多岐にわたることから、平成16年度第1回国際小委員会において見直しの基本方針を作成  
これに基づき平成16年度第2回・平成17年度第1回小委員会において、①現状分析、②協力実績の整理、③協力実績の評価、④協力の意義・目的、⑤具体的な施策の方向 について検討。今回、その結果をとりまとめ



## 2. 取りまとめ方法

- 前々回（平成 16 年度第 2 回）、前回（平成 17 年度第 1 回）国際小委員会における検討結果を一つに取りまとめ
- 具体的には、
  - ①これまでの資料に小委員会での検討結果を反映させるとともに、「現状分析」や「協力実績」のデータを現時点のものに更新
  - ②ODA 関係機関にも積極的に情報発信することを前提に、「はじめに」として見直しに至る経緯などを整理するとともに、必要に応じて写真を追加するなどして体裁を調整し、冊子形式で取りまとめ

